



ゆずっこ

福島市立御山小学校
学校だより NO. 15
令和6年1月19日(金)
発行者 校長 菅藤 文彦

いじめをしない。許さない。

19日の放送朝の会(テレビ放送)で、「いじめをしない。」「いじめを許さない」児童になってほしいと思い、以下のことを話しました。ぜひ、ご家庭でも話題にしていいただければと思います。よろしくお願いいたします。

「私たち人間は、耳、目、鼻、舌、頬などの肌でいろいろなものを感じます。もう一つ、感じる場所を持っています。どこだと思いませんか？」

『心』です。私たちが自分で自分の頬をつねった時に「痛い」と感じるように、『心』も「痛い」と感じます。以前の朝の会で話しましたが、『自分がされて嫌なことは人にしてはいけません』、『いじめはいけません。』『いけないことは、何があっても、どんなことでも、いけないのです。』

いじめには、どんないじめがありますか？

- ①「机やノートに落書き」いやがらせ。
- ②「失敗したり、人と違うことを笑ったりする」「しゃべり方や動き方を真似する」からかい。
- ③「ねえねえ、〇〇ちゃんとは話すの止めよう」とその人が来たら急におしゃべりをやめる」「逃げる」「一人ぼっちにする」無視や仲間外し。
- ④「遊ぶふりをしてたたいたり蹴ったりする」暴力。
- ⑤「死ぬ」「よわむし」「きもい」「かわいこぶってる」などの悪口。言葉の暴力。

いじめられた人の心はどうなっているでしょう。

さらに、この心はこれからどうなるでしょう。

死んでしまう人、学校に来られなくなる人、家から出られなくなる人がいるのです。

こんな友だちがまわりにいませんか？

いたらこのままにしておいていいのでしょうか？

いじめられている本人はどうすることもできません。

どうしたらいいのでしょうか？

まわりの人が、「一人じゃないよ。」「ぼくと一緒にいればいいよ。」「大丈夫だよ、私がついてるよ。」「心配ないからね。」などと声をかけることでしょう。また、「味方だからね。」と励ましてくれる人がいるといいよね。いじめをした人が反省して、心から「ごめんなさい。もう二度としません。」と謝ることもいいよね。

そして、いじめをやめさせるのです。

でも、いじめの跡は残ります。消えません。10年たっても、20年たっても、忘れることはできません。だから、いじめは絶対になくさなければいけないのです。

「ふざけてやっていて、同じ事を自分がされても気にしなかったから、相手がそんなに嫌だったなんて思わなかった。いじめだとは思わなかった。」と言うひともいるかもしれません。自分はいじめているつもりでなくても、いじめになってしまう。相手の気持ちを考えるということが大切です。

しない 自分がされていやなことは、人にしない。

させない されていやなときは、「やめて!」という。友だちや先生、家の人に伝える。

見のがさない いじめを見たら、注意する、または、すぐに連絡する。

「おやま110番の家・危険箇所マップ」について

これまで各家庭に配付していましたが、PTA会員の皆様に、いつでもどこでも見ていただけるようにするために、学校のホームページに掲載することとなりました。「御山小学校ホームページ」にアクセスいただき、ご確認ください。

